

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

| | | | |
|--------|--|----|-----------------------------------|
| 代表者氏名 | 勝谷紀子 | 所属 | 青山学院大学 社会情報学部附置社会情報学 研究センター |
| 研究会等名称 | 公益社団法人日本心理学会 難聴者の心理学的問題を考える会 | | |
| 成果概要 | <p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 2 名 (うち認定心理士 1 名) 非会員 22 名 (うち認定心理士 0 名) ※文字通訳者として参加した3名を含む</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>本研究会は、「聞こえや聞き取りに困難があるにもかかわらず、難聴に対する理解や配慮が十分でないことから生じる心理学的問題を考えること」を目的としている。研究会メンバーは、障害児教育、知覚心理学、認知心理学、臨床心理学、発達心理学、社会心理学、認知心理学などさまざまな領域で難聴の研究をしている研究者、当事者が主なメンバーとなっている。</p> <p>2017 年度は、昨年度に引き続き、メーリングリストを通じて会員同士が議論、情報交換を行い、難聴者のもつ心理学的問題について考えた。研究集会として、今年度は「きこえカフェ」と題した難聴当事者の交流会を神奈川県藤沢市で 2018 年 3 月 25 日に開催した。</p> <p>具体的には、「聞こえづらさを持つ人びと同士の間を共有する」を大きなねらいとし、難聴当事者どうしが①自分の聞こえ方・聞こえにくさを表現する、②ふだんのコミュニケーションの工夫を考えるというふたつのテーマについてワールド・カフェ形式で話し合いを行った。グループでの話し合いにおいて、聞こえの程度がさまざまでも参加ができるよう、筆談によるコミュニケーションを採用した。</p> <p>話し合いの後には、各グループで話し合った内容について模造紙でのまとめを示しながら説明をしてもらい、全体共有をおこなった。終了時に参加者が回答したアンケートでは、話し合い時間の短さなどの問題点も指摘されたが、自分以外の難聴者の考えを知ることができたこと、さまざまな難聴者と交流できてよかったことなどが挙げられた。今後もこうした交流会を継続していくことの重要性が示されたといえる。</p> <p>次年度は、難聴者への心理的な支援のあり方についてひきつづき検討し、難聴当事者対象の交流会も継続して開催していきたい。当事者間の交流や意見交換の中から、難聴者が望む支援を受けるために必要なコミュニケーションのあり方を検討する予定である。</p> | | |

研究集会参加者リスト

| ＜研究会名＞ | | | | |
|------------------------------|--|----------------------|----|-----------|
| 公益社団法人日本心理学会 難聴者の心理学的問題を考える会 | | | | |
| 研究集会開催日：2018年3月25日（日） | | | | |
| | 氏名 | 所属 | 会員 | 認定 心理士 |
| 1 | 勝谷紀子 | 青山学院大学 | ○ | ○ |
| 2 | 佐野智子 | 城西国際大学 | ○ | |
| 3 | 一橋圭子 | | | |
| 4 | 市川智香子 | | | |
| 5 | 市川裕 | | | |
| 6 | 金子幸恵 | | | |
| 7 | 川見りつ子 | | | |
| 8 | 記伊実香 | | | |
| 9 | 木島雅子 | | | |
| 10 | 窪田祥子 | | | |
| 11 | 小林有紀 | | | |
| 12 | 小林良江 | | | |
| 13 | 小松佐知子 | | | |
| 14 | 佐藤恵子 | | | |
| 15 | 鈴木麻紀 | | | |
| 16 | 高柳洋輔 | | | |
| 17 | 菜花美子 | | | |
| 18 | 中澤香織 | | | |
| 19 | 平本シゲル | | | |
| 20 | 松村喜久子 | | | |
| 21 | 松本茉莉 | | | |
| 22 | 井上佳子 | パソコン文字通訳者会Ubiquitous | | |
| 23 | 堀田結花 | パソコン文字通訳者会Ubiquitous | | |
| 24 | 井上容子 | パソコン文字通訳者会Ubiquitous | | |
| 注 | ※リストの3-21の方は研究会外の一般の難聴当事者の方です。お名前のみ当日の参加者名簿に記載いただきました。 | | | |

(様式5)

2018年3月30日

日本心理学会研究会 2017 年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会 難聴者の心理学的問題を考える会

研究会番号 研 17017

助成金額 ¥30,000

| 年月日 | 項目 | 金額 |
|------------|---------------------|---------|
| 2018年3月23日 | 資料印刷費 (研究集会配布資料) | ¥5,464 |
| 2018年3月25日 | 会場費 (リブリ・ソーシャルスペース) | ¥12,960 |
| 2018年3月25日 | 文字通訳代 (1時間6500円×3名) | ¥19,500 |
| 2018年3月25日 | 文具 | ¥1,188 |
| 2018年3月25日 | 日用品 | ¥432 |
| 支出合計 | | ¥39,544 |